



鬼怒川線（三所線）

常総線の大田郷駅から西側の鬼怒川東岸の河原（三所駅）へと延びていた路線で、鬼怒川で採取した砂利を運ぶために造られました。昭和39年に廃線となりましたが、現在も起点の大田郷駅には「0キロポスト」、船舟新道（関本分中）には「1/2 4（4.5km）キロポスト」の距離標が残っています。



船舟新道



雷神社の鹿

樋口に鎮座し、毎年、その年の吉凶と雷を占う「湯立祭」が執り行われている雷神社。この雷神社にとっても不思議な木があり、鳥居をくぐって左の神木に、鹿の顔が生えています。立派な角に、クリっとした可愛い目。まさに鹿です。



雷神社



宮山石倉遺跡

宮山石倉遺跡の涸れない水

宮山ふるさとふれあい公園にある標高約48mの遺跡です。「弘法の硯石」と呼ばれる石があり、湧水期でも涸れることなく、潤っていたと言われています。



ちっくんマンホール

市の魅力がつまった、ちっくんデザインのカラーマンホール蓋は、現在2箇所（下館北口・南口前の歩道）に設置されています。このデザインを使ったマンホールカードも人気があり、随時配布しています。

スピカビル付近の歩道に



スピカビルと立体駐車場の間の歩道に「ハートマーク」とChikusei Cityの「C・C」の文字が刻まれています。



メールはこちら



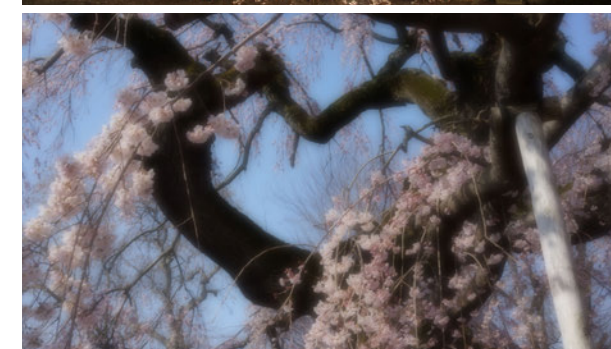
羽黒神社

羽黒神社のうさぎ

本殿などが県の文化財に指定されている大町の羽黒神社に、石でできたかわいい小動物がいました。3匹まで見つけることが出来ましたが、まだまだ住み着いているうさぎが、いるかもしれません。みなさんもぜひ、探してみてください。



延命寺



延命寺の枝垂れ桜

樹齢350年ともいわれる延命寺の枝垂れ桜は、滝から流れ落ちる水のように見事に咲き誇ります。桜の枝が「ハート型」に見えるポイントが何箇所もあるので、探してみてください。桜の木のハートを見つけたことが出来ると、縁結びの効果があるかもしれません。

道路をまたいだ火の見櫓（鷹場町）

火の見櫓は、火災の早期発見や消防団の招集などに使われていた見張り台です。木造建築が多い日本では、火災が起こると、大災害に発展する危険性が高かったため、建築物が密集するようになった江戸時代以降、火の見櫓が各地で造られました。この火の見櫓は道をまたいで建てられており、全国的にも大変珍しいものです。

人に自慢したくなる
ちくせい百景

歴史的な遺構や自然が生み出した不思議な造形など、市内に住んでいても意外と知らない、めずらしい光景をご紹介します。実物を見れば笑顔になってしまうものばかり。身近な場所を散策して、新たな出会い、新しい発見をしてみませんか。

市民記者
小島正美さん